

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

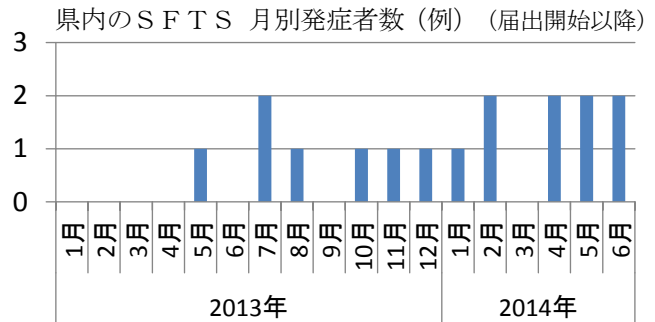
宮崎県第26週の発生動向

□ 今週のトピックス

・重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) (全数把握対象)の報告が日南保健所から1例あった。県内での報告は17例目となった。患者は60歳代女性、発症は6月中旬であった。ダニの刺し口があり、海外渡航歴はなかった。

県内のSFTS 年齢別報告数 (例)

40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
1	1	4	4	7



□ 全数報告の感染症 (26週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、日本紅斑熱1例。5類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	—
			70歳代	女	肺結核	咳
		高鍋	80歳代	女	無症状病原体保有者	—
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	70歳代	女	患者	腹痛 O26(VT1産生)
4類	重症熱性血小板減少症候群	日南	60歳代	女	患者	発熱、下痢、嘔吐、血小板減少 白血球減少、刺し口
	日本紅斑熱	日南	80歳代	女	患者	発熱、発疹

□ 定点把握の対象となる5類感染症

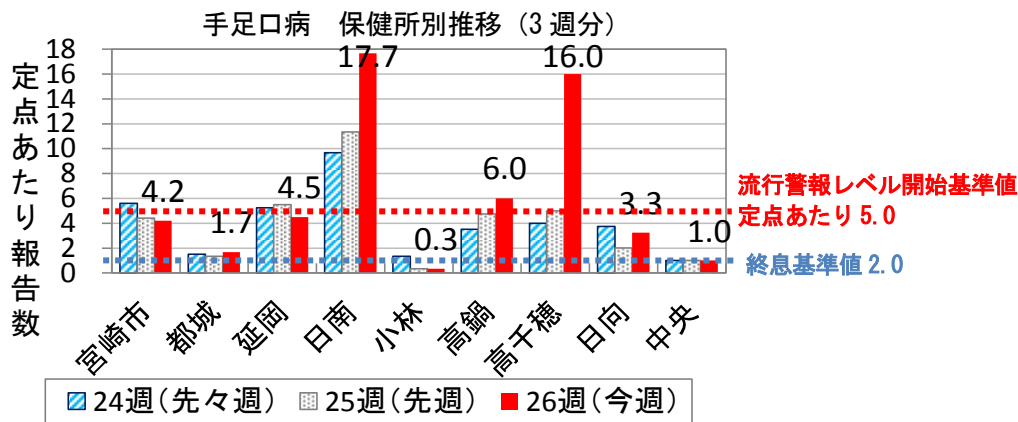
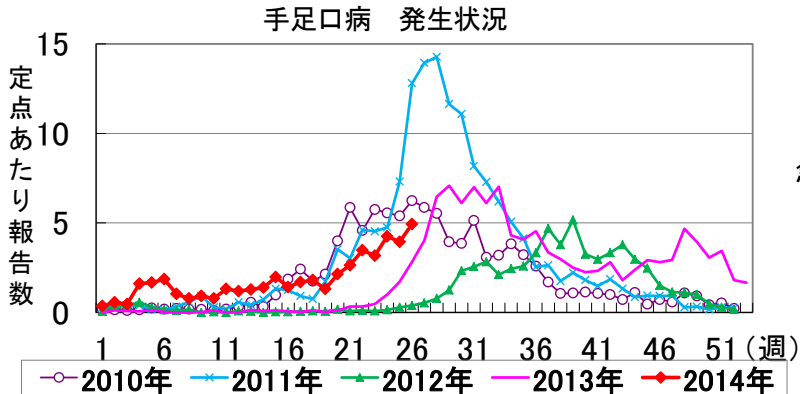
・定点医療機関からの報告総数は893人(定点あたり26.4)で、前週比97%と横ばいであった。前週に比べ増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と水痘であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【手足口病】

・報告数は178人(4.9)で前週比125%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(4.5)の約1.1倍であった。日南(17.7)、高千穂(16.0)、高鍋(6.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から2歳が全体の約6割を占めた。

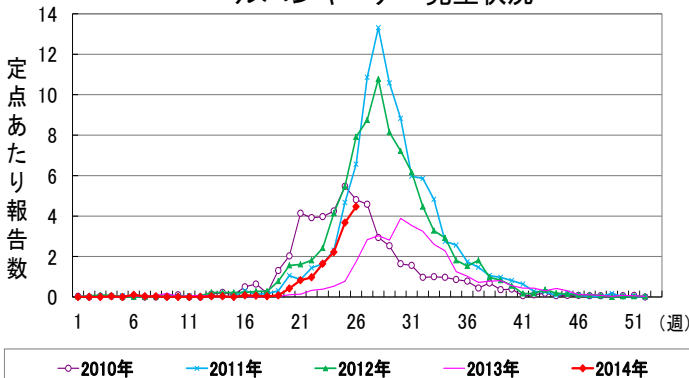
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



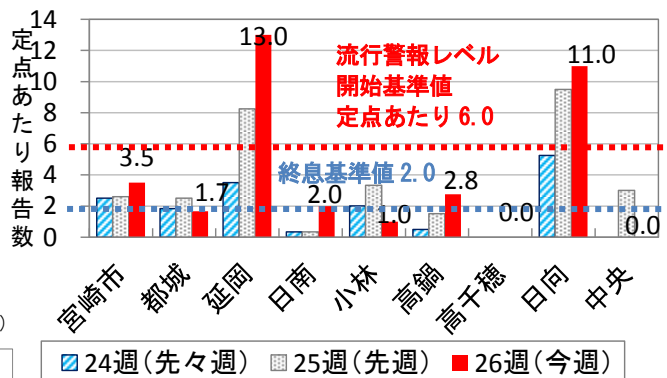
【ヘルパンギーナ】

・報告数は161人(4.5)で前週比122%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(4.8)の約0.9倍であった。延岡(13.0)、日向(11.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から2歳が全体の約6割を占めた。

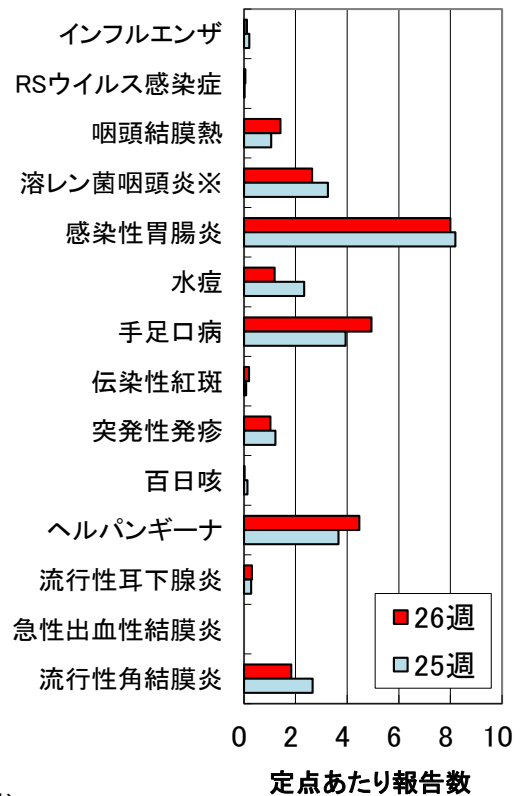
ヘルパンギーナ 発生状況



ヘルパンギーナ 保健所別推移 (3週分)



《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

★流行警報レベル開始基準値超過疾患★

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	ヘルパンギーナ(13.0)
日南	咽頭結膜熱(4.7)、手足口病(17.7)、 伝染性紅斑(2.0)
小林	なし
高鍋	手足口病(6.0)
高千穂	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.0)、 手足口病(16.0)
日向	ヘルパンギーナ(11.0)
中央	なし

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎（ロタウイルス）：日向保健所管内から1例報告された。患者は5ヶ月で群別不明。

□ 病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成26年6月30日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC(O15:HUT eae astA)	70歳代	男	2014.6.7	EPEC疑	便	2014.6.18
Salmonella Thompson(O7:k:1,5)	0~4	男	2014.6.14	—	便	2014.6.20

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	検出日
エンテロウイルス71型	2	男	2014.3.19	手足口病、発疹	咽頭ぬぐい液	2014.6.24
エンテロウイルス71型	1	男	2014.5.6	手足口病、38.5℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2014.6.24
エンテロウイルス71型	1	女	2014.5.12	手足口病、口内炎、手足に発疹	咽頭ぬぐい液	2014.6.24
エンテロウイルス71型	3	男	2014.4.21	手足口病、38.3℃、水疱、丘疹	咽頭ぬぐい液	2014.6.27
エコーウイルス14型	1ヶ月	男	2014.4.23	髄膜炎、39.0℃、発疹	便、咽頭ぬぐい液	2014.6.27

○手足口病と診断された幼児4名からエンテロウイルス71型(EV71)が分離された。手足口病はEV71、コクサッキーA16(CA16)、コクサッキーA10(CA10)、コクサッキーA6(CA6)などのエンテロウイルスによっておこり、基本的に予後良好な疾患である。本県の昨年度の手足口病疑い患者からはCA6が多く検出されていたが、今年度はEV71が12株分離されている。エンテロウイルスによる感染症は例年6~7月にかけて流行する傾向にあり、今後もEV71による手足口病に注意が必要である。

○髄膜炎と診断された乳児からエコーウイルス14型が分離された。髄膜炎は主にエコーウイルスが原因ウイルスとなることが多く、過去に全国でもエコーウイルス30型、エコーウイルス18型による流行が起きている。本県では過去にエコーウイルス14型による流行はなく、全国的にも分離、検出数は少ない。

🚩 全国第 25 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 25 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	405 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	119 例	腸チフス	1 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	1 例	A型肝炎	3 例	重症熱性血小板減少症候群	4 例
	つつが虫病	5 例	デング熱	7 例	日本紅斑熱	1 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	29 例	レプトスピラ症	1 症
5類感染症	アメーバ赤痢	17 例	ウイルス性肝炎	1 例	急性脳炎	4 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 例	後天性免疫不全症候群	19 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	9 例	梅毒	20 例
	破傷風	3 例	風しん	3 例	麻しん	14 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比 100%と横ばいであった。今週増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患は感染性胃腸炎と水痘であった。

手足口病の報告数は 1,824 人(0.58) で、前週比 121%と増加した。大分県(4.3)、宮崎県(3.9)、鹿児島県(2.2)からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約半数を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 4,125 人(1.3)で、前週比 154%と増加した。鳥取県(6.1)、山口県(4.6)、宮崎県(3.7)からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約半数を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第26週(06月23日～06月29日)

疾病名		第25週	第26週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	12	7	1		2	1	3				
	定点あたり	0.20	0.12	0.06	0.00	0.29	0.20	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	1	2	1					1			
	定点あたり	0.03	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	38	51	20		7	14		2		7	1
	定点あたり	1.06	1.42	2.00	0.00	1.75	4.67	0.00	0.50	0.00	1.75	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	117	95	14	3	25	4	7	11	9	22	
	定点あたり	3.25	2.64	1.40	0.50	6.25	1.33	2.33	2.75	9.00	5.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	295	288	77	57	25	28	43	16	6	34	2
	定点あたり	8.19	8.00	7.70	9.50	6.25	9.33	14.33	4.00	6.00	8.50	2.00
水痘	報告数	84	43	15	6	7		2		1	12	
	定点あたり	2.33	1.19	1.50	1.00	1.75	0.00	0.67	0.00	1.00	3.00	0.00
手足口病	報告数	142	178	42	10	18	53	1	24	16	13	1
	定点あたり	3.94	4.94	4.20	1.67	4.50	17.67	0.33	6.00	16.00	3.25	1.00
伝染性紅斑	報告数	3	7			1	6					
	定点あたり	0.08	0.19	0.00	0.00	0.25	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	44	37	12	3	9	3	4	3		2	1
	定点あたり	1.22	1.03	1.20	0.50	2.25	1.00	1.33	0.75	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数	5	1				1					
	定点あたり	0.14	0.03	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	132	161	35	10	52	6	3	11		44	
	定点あたり	3.67	4.47	3.50	1.67	13.00	2.00	1.00	2.75	0.00	11.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	10	11	5	1	1	1		1		1	1
	定点あたり	0.28	0.31	0.50	0.17	0.25	0.33	0.00	0.25	0.00	0.25	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	16	11	11								
	定点あたり	2.67	1.83	3.67	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		1								1	
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		1.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～26週)

2類感染症	結核	99例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	9例(1)				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	15例	重症熱性血小板減少症候群	9例(1)
	つつが虫病	5例	日本紅斑熱	3例(1)	ボツリヌス症	1例
	レジオネラ症	3例				
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	5例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性肺炎球菌感染症	6例
	梅毒	6例	破傷風	1例	風しん	1例
	麻しん	3例				

()内は今週届出分、再掲